

第5回NIRS染色体研修

募集要項

1. 目的

大規模原子力災害や核テロ、大震災を含む複合災害に備えて、全国に染色体検査の支援環境づくりを進めるとともに、染色体分析技術者的人材育成を目的としています。

2. 対象者

医学生物学系の研究者・学生、医療関係従事者、公的機関の原子力災害対応関係者。

休職中の（または退職された）染色体検査技師・医師・細胞遺伝学研究者。

3. 募集人員 20名

4. 開催日時 平成27年3月17日（火） 13時00分～16時30分

5. 開催場所 日本赤十字社 クロスラウンジ

（〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3）

6. 研修内容

13:00～13:30 特別講演①「日本赤十字社の原子力災害への取り組み」

（日本赤十字社 事業局 救護・福祉部 災害対策企画室 赤十字原子力災害情報センター）

13:30～14:00 講義①「放射線の人体影響」（REMAT 立崎英夫）

14:05～14:35 講義②「放射線被ばく事故」（緊急被ばく医療研究センター 福津久美子）

14:35～15:05 講義③「被ばく線量推定法～染色体分析を中心に～」（日本の症例を含む）

（緊急被ばく医療研究センター 数藤由美子）

15:05～15:35 特別講演②「CBRNE 対策最前線」（仮題）（国立保健医療科学院 健康危機管理部 金谷泰宏）

〔注：化学・生物・放射性物質・核・爆発物（CBRNE）によるテロ・災害対策〕

15:45～16:30 実習①「画像診断練習」（ギムザ染色法による二動原体分析、FISH法による転座分析）

実習②「顕微鏡画像解析システム」（同上）

（緊急被ばく医療研究センター 数藤由美子、カールツァイスマイクロスコピ一

株式会社 田中亨、右高）

7. 受講料 無料

8. 受講証明書・単位の授与

日本人類遺伝学会臨床細胞遺伝学認定士の更新単位として5単位が認められる予定です。

希望者には、後日、受講証明書を授与しますので、ご利用ください。

9. 特記

*一部の講義、実習のみへの参加も歓迎いたします。

* 交通費・宿泊費の支給についての特例

- 学生、ポスドク、日本人類遺伝学会臨床細胞遺伝学認定士研修生、同 認定士・指導士の資格を有し退職・休職している人で、希望する方を優先的に対象とします。
- 交通費と宿泊費は、当所の旅費規程に基づき実費を支給します。
(ただし、上限がありますので詳細はお問い合わせください。)

10. 申込要領

参加希望者は、下記（1）または（2）の方法で、平成27年3月12日17:00までにお申込み下さい。原則として、「先着順」とさせていただきます。

（1） WEB 申込を利用する場合

※放医研 HP→研修課程→研修課程一覧→募集要項参照→WEB 申込フォームより送信

※（注意）必須項目欄を未記入にするとシステム上、申込が完了できません。

適宜、漢字《無し》や数字《00》やアルファベット《aa》等何かしらの入力をして下さい。

※入力後に各自で申込データの印刷をお願い致します。

（2） 下記 11. 申込先のメールアドレス（senshokutai-kenshu@nirs.go.jp）宛に直接申込む

※メールの件名・・・「第5回NIRS 染色体研修申込」

※必須記入項目・・・①氏名②ふりがな③年齢④郵便番号⑤住所⑥TEL

⑦E-mail（結果通知宛先）⑧所属先機関名⑨職務内容⑩受講理由

⑪受講証明書発行の要・不要

11. 受講決定通知

受講決定通知は3月13日までにご連絡いたします。（原則はE-mailとします）

12. 申込先・問い合わせ先

〒263-8555 千葉県千葉市稻毛区穴川4-9-1

放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療研究センター 生物線量評価研究チーム（担当：数藤由美子）

E-mail: senshokutai-kenshu@nirs.go.jp